

## 新型コロナウイルス感染症への、デイサービス・デイケアでの取組事例報告

### ① デイケア・デイサービスの利用を「新型コロナウイルス感染症」の感染リスクを理由に休止する利用者への対応

令和2年3月から、「新型コロナウイルス感染症」の為に利用休止を希望されるかたが多くなってまいりました。  
また、令和2年4月7日の「非常事態宣言」により、休止希望者はさらに急増いたしました。

そこで青木会では、

- ① デイサービス(リハビリの家東浦和:さいたま市緑区/1日利用約50名)
- ② デイケア(青木中央クリニック通所デイケア:川口市柳崎/1日利用者約80名)

の2つの事業所にて今回の特別取扱いの「新型コロナウイルス感染予防による、通所休止利用者への訪問サービスの提供」を行いました。

4月15日	2事業所につき、訪問サービスチーム結成し、準備開始。	
	<input type="checkbox"/> 通常のデイサービス利用者対応スタッフと訪問サービス対応スタッフの業務の区分け <input type="checkbox"/> 訪問サービスでのサービス内容の検討 <input type="checkbox"/> 訪問サービスでの必要な感染予防物資の検討、準備 <input type="checkbox"/> スタッフの役割検討	
	リハビリの家東浦和	スタッフ4名
	青木中央クリニック通所デイケア	スタッフ3名

4月20日	青木中央クリニック通所デイケアにて訪問サービス開始
-------	---------------------------

5月1日	リハビリの家東浦和にて訪問サービス開始
------	---------------------

#### 【経過】

		4月20日	5月1日	5月11日	5月20日	5月30日	6月10日	6月19日
青木中央クリニック通所デイケア	訪問あり	2	7	9	7	4	4	4
	訪問なし	27	94	81	68	36	13	8
	通所再開	0	0	17	34	68	88	91
	未決定	60	0	4	2	0	0	0
リハビリの家東浦和	訪問あり		5	10	10	9	6	4
	訪問なし		76	71	71	68	37	32
	通所再開		0	3	5	9	41	48
	未決定		0	0	0	0	0	0

- 休止の方の中で、訪問を希望されない利用者へのアプローチを配慮した対応を行う。
  - 廃用の問題がありますので、自宅での運動「自主トレメニュー」を作成・配布
  - 訪問・電話での定期的な状況確認。
  - ケアマネとの利用者状況の情報共有化

### ② 訪問サービスの効果と課題と提案

#### 【訪問サービスの効果】

- 訪問により、利用者及びご家族が安心する。
- 自宅での生活状態を、スタッフが確認できる。
- 運動不足の解消。(廃用の予防効果)
- 本人、家族、ケアマネとのコミュニケーションの深まり。

- スタッフの訪問サービススキルの向上。

#### 【訪問サービスの課題】

- 休止の方全員に訪問できない。訪問拒否の方も多い。
- 利用者自宅が広範囲に及ぶため、スタッフイングが難しい。
- リハビリ機器が使えない。
- 訪問から通所再開時に、継続訪問を要望される方もいる。
- 訪問に係る備品や訪問車両の準備。

#### 【提案】

今回の、「新型コロナウイルス感染症」での休止通所利用者への訪問サービスを振りかえってみますと、一番心配したことは、

**「介護サービスを全く受けずに、自宅にこもる利用休止者の対応」**

でありました。

特に独居の方は、まったく状態がわからず、自宅訪問をしてみました。今回の対応では不十分でありました。

そこで、「見守りサービス」を重点的に行うことができるサービスの利用があれば良いのではと思います。

「定期巡回サービス」を上手に利用する。「見守り・安否確認」で定期的に訪問することが一番良いのではないかと感じています。